

## トピック①

# 渋川空襲と学童疎開

生方 敏博（渋川平和委員会副会長）

12月12日渋川中学校で1年生3クラス90人に「渋川空襲」について話をしました。

講演の途中に、神宮寺（渋川市有馬）に寄贈された「学童疎開児童」の手記を生徒さんに読んでもらいました。また、今回は空襲の遺跡だけでなく、菊池実さんがアメリカ軍史料から発見した「渋川空襲」の史料もあわせて50枚ほどパネルを展示しました。

講演後に、パネルをみながら生徒さんへの質問に答えました。

## 「渋川空襲」の今年の講演

- ① 2月15日 渋川市立子持中学校3回目 90人
- ② 6月24日 群大教育学部北群馬渋川支部 30人
- ③ 9月28日 渋川市立赤城北中学校2回目 36人
- ④ 10月 8日 渋川市赤城町南雲第二自治会 40人
- ⑤ 11月11日 渋川市北橋町八崎第一自治会 50人
- ⑥ 11月15日 渋川市立北橋中学校6回目 70人
- ⑦ 12月12日 渋川市立渋川中学校4回目 90人

## 渋川市の平和教育

渋川市の平和教育は、現渋川市教育長中沢守さんがすすめています。一昨年、2022年「渋川北群馬九条の会の17周年の集い」では、中沢教育長に講演をしていただきました。

教育長は、北橋中・渋川北中学校の時に平和教育として1年生は前橋空襲の学習、2年生で東京空襲、3年生で広島への修学旅行を実施され、子持中学校では、平成4(1992)年関西に広島を加えて修学旅行を行いました。その後渋川中学校で広島への修学旅行を実践されています。

平和教育は、戦争と敗戦を体験し、二度と戦争をしないと誓った日本国民として、永く継承されねばならない大切な取組です。



教育長は、中学校で平和教育を進めるなかで渋川の地元にも空襲があったことを知り、渋川平和委員会に講演の依頼をされました。

それ以来毎年、渋川平和委員会は各中学校での「平和教育」として渋川空襲の講演を行っています。

渋川市民でも前橋空襲・東京空襲があったことは知っていても、渋川空襲については知らないという人がたくさんいます。渋川平和委員会は毎年市内の公民館や渋川市役所などで原爆と渋川空襲の写真展を開催しています。

## 渋川空襲などの戦争遺跡の調査と発掘

渋川空襲については昭和40(1960)年代に渋川公民館(現在の渋川商工会議所)を使用してサークル活動を行なっていました。その3階の講堂には、渋川空襲の時、機銃掃射によって穴があいたガラス窓が残っています。

その後、平和委員会の活動として渋川空襲の戦跡がないかと調査していたところ、渋川図書館から「渋川空襲の地図」があることが判明し、地図をカラーコピーしました。市民からは「渋川空襲の爆弾の破片」「焼夷弾の破片」が提供されました。

毎年「平和巡礼」で訪れている有馬地区の神宮寺に、東京から「学童疎開」した児童がまとめた「平和への願いをこめて」の小冊子が保存されているこ

とを知り公開することができました。これは、戦時中、疎開でお世話になった方々が戦後60年たった2000年に、当時を振り返ってまとめたものです。

それ以外の資料は、渋川商工会議所の機銃掃射の被弾痕、北橋村空襲の図、佐久発電所のサージタンク被弾痕跡、橘小学校前校舎校長室の天井張板、上郷地区良珊寺の「学童疎開の地」碑、渋川市小野子にある防空壕などがあります。

## 渋川空襲のアメリカ軍資料の発見

2023年渋川北群馬九条の会の18周年の集いで、戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表の菊池実さんが渋川空襲について講演しました。

アメリカ国立公文書館、日本の国立国会図書館憲政資料室などの資料で渋川空襲についてアメリカが行った渋川空襲について報告をしました。

その中には渋川空襲で攻撃目標になった「大正橋」「板東橋」「佐久発電所のサージタンク」などの写真がありました。渋川空襲をした「艦上爆撃機カーチスヘルダイバー」とそれが発艦した「航空母艦ランドルフ」の写真もありました。



艦上爆撃機 SB2C-4 カーチス・ヘルダイバー

## 生徒さんの感想の一部を紹介します

◆渋川空襲があったなんて正直、想像がつかなかったけれど今日の講演を聞いて、戦争や空襲の悲惨さや学童疎開先でのつらさ、そして戦争というものがどんなにおろかであり、何百万人もの命を奪う、絶対におこしてはならないものだと思いました。

◆講演を聞いて、戦争、空襲、疎開はとても大変なことだったと分かりました。今1人の子どもの世話をするだけでも大変なのに、今より食料や物資が少ない戦争中に1人の先生が40人分の食料、勉強、生活の世話をしているのは、とても大変だったと思います。それに歯みがき粉を送ってもらって、歯みがき粉をなめたり、面会にきた親と一緒に東京へ戻ろうとしたりしているという話もあったので、戦争中は、生徒も先生もとても苦しく大変な思いをして過ごしていたと思いました。また、1クラス55人前後なのに、靴は5、6足しか配給されなかった、ほとんどの子どもがはだしで登校している、普段私達があたりまえと思っていることも、昔ではほとんどの子どもができないことだったと思いました。

◆今世界では戦争をしているところがあるので、平和のありがたさを思い、世界中が平和になったらいいなと思いました。今回の講演を今後の平和学習や、それ以外に活かしていこうと思いました。

◆2年生では東京空襲の現地を学ぶので、その時に今日学んだ事を活用していきたいと思います。本ですが昔は全部ひらがなだった、それに右から読む読み方です。

◆渋川空襲の講演を聞いて分かったことが二つあります。一つは(疎開児童の手記を聞いて)先生が勉強より生きて行くことをゆうせんしたことです。戦争は勉強ができないほど生活をくずすものだとなりました。

2つ目は、一番大切なことで、戦争はやってはならないことです。今まで社会の歴史の授業で戦争について学習し、今回の講演会などを聞いて、もし私とその戦争のところにいたら、何にもできず死んでしまいそうで、生き残った人はすごいなと思います。3年生になったら修学旅行で広島原爆資料館に行くので、今回のことをいかして行きたいとおもいます。ありがとうございました。